

# 金木だより

発行所 青森県金木町  
印刷所 東奥日報社  
事業局

金木だよりは各世帯毎に一  
部ずつ無料配付いたしてお  
ります。

## 町のメモ

- 八日 町ぐるみ交通安全協議会。
- 四日 土木常任委員水害状況視察
- 五日 災害救助法発令、県河港課長、農林省技官、県土地改良課長災害視察。
- 六日 第二保育所落成式。
- 九日 農協会館民生労働委員(会)災害視察。
- 十日 金木商賈組合議会、教育民生常任委員会。
- 十四日 夏まつり(十六日まで)町制施行四十周年、町村合併五周年記念式典。
- 十五日 建設省防災課長災害視察
- 二十一日 三和建設事務次官視察会。
- 二十二日 自治省住宅水理課課長水害視察。
- 二十九日 新金木商工会創立総会

## 対策費は六十四万円 着々進む復旧工事

### 補助金で小田川着工

#### 沢部の堤防は仮締工事

8月2日から3日にかけて、集中豪雨に見舞われた当地方は、3日午後1時30分頃、岩木川逆流によって、金木川沢部地区の堤防が決壊したほか、嘉瀬～金木間の水田約350haが冠水するなど、損害は意外に大きかったが、町当局をはじめ関係者の努力により、復旧作業は順調に進んでいる。

八月三日から三日にかけて津軽地方を襲った集中豪雨で、金木地方は沢部橋付近の石堤防が約二十mにわたって決壊、さらに小田川も増水、被害合計は家屋床上浸水百五十六戸、同床下浸水五十二戸、水田冠水約二千二ヶ、同浸水約百ヶ、畑冠水十九ヶ、堤防決壊二ヶ所、濁水四ヶ所、橋梁決壊一ヶ所、金額に換算して約七千二百五十万円と推定されている。

このため町では対策本部において緊急対策をたてたほか、県では災害救助法を適用して急復旧費を被災者に贈り、政府では三和建設次官や、関係各省の調査団を派遣するなど、調査、復旧に全力をあげており、町の復旧作業は意外に早いスピードで進められ、被災者の表情には明るさが見受けられるようになった。

この災害による緊急対策費、復旧事業費のあらましを述べれば次のとおりである。

①伝染病予防費 四万五千円  
②応急対策費 五十四万六千円  
③復旧事業

金木山堤防復旧事業 四百二十三万円(うち十五万円は仮締工事費、他は県費)  
坂本橋復旧工事費 二百万円(査定申請中)  
小田川堤防復旧工事費 一百八十八万円(うち県費百四十二万円、八月十日着工、九月

#### 優良施設を視察

##### 各団体から十二人

九月十七日から三日間「東北地区村づくり現地指導会」が山形県天童市で行なわれることになったが、このほど同指導会参加者が次のとおり決定した。なお、一行は指導会に参加するほか、同市周辺の優良施設を視察する予定である。

木造体協、五所川原体協、中里林友市浦林友、金木林友、金木体協

まだやっておかないと思っていた水害が、この月のはじめに、ものすごい勢いでやってきた。その損害は約七千二百万円といわれており、町当局では現在その復旧作業に全力をそそいでいる。

#### 盛大だった記念式典

##### 自治功労者41人を表彰

去る十四日午前十時三十分から金木中学校講堂で求道百五十人を招き、町制施行四十周年および町村合併五周年の記念式典を挙げて、自治功労者四十一人を表彰し、知事代理(野果水産商工部長) 藤田誠、会長代理(岩田農産) 嶋海村村会長、今金木中学校長の求道福祥に続いて、表彰者代表の高橋松太郎氏から謝辞があつて正式式を閉じた。

- 表彰者は次のとおり。
- ▽歴代町長(生存者のみ)  
津島文治、福土勇、大橋忠雄、花田一、山中弘一、杉山金造、
  - ▽職員(二十年以上)  
野崎昌一、岩村久米太郎、今幸八郎、白川長吉、野呂儀兵衛、伊丸貞、伊藤文雄、田中与助、外崎三三
  - ▽感謝状  
藤元嘉嗣(在米ニューヨーク)

これを、われわれは「白岩の苗圃」といふが、この写真のとおりに、なかなか趣きのある眺めである。

#### ハイコースに最適

##### 白岩の苗圃年間百万本育てる

林区署といつた時代に設置したもので、その当時の最盛期には、作付面積は約六町歩で毎日六十八から八十八人の入夫で賑わったものだが、この状態は大正十年ごろまで続いたが、満州事変がはじまって間もなく昭和十年には一時閉鎖されてしまった。

◇天災は忘れた頃にやってくる。この言葉は、何回となく聞かされてきたのであるが、いったい誰のために作られた言葉だろうか？

◇天災は忘れた頃にやってくる。九月の複雑な天候をあらわした言葉であるが、その九月には二、三回ぐらいは台風が本土に上陸するということが、復旧工事中に、またまた水害だ、ということもなりました。

◇新築、残響、そして台風。これは九月の複雑な天候をあらわした言葉であるが、その九月には二、三回ぐらいは台風が本土に上陸するということが、復旧工事中に、またまた水害だ、ということもなりました。

## 老人に楽しい一日を

### 九月十五日 金木中学校で

来る九月十五日(水)「としより」全地域の老若者(明治十七年以降に生まれた方)百五十三人を招待し、会を開くことになった。

昨午までは、金木町老人会が主催し、金木地区の老若者を招待して、金木地区の老若者を招待して、町主催で行なうことになった。

当日は、毎年敬老会のお役にたつて、今年からは行政協力委員が主体となって計画し、町主催で行なうことになった。

この写真は、白岩の苗圃と称し、明治四十年、喜良市小林区署といつた時代に設置したもので、その当時の最盛期には、作付面積は約六町歩で毎日六十八から八十八人の入夫で賑わったものだが、この状態は大正十年ごろまで続いたが、満州事変がはじまって間もなく昭和十年には一時閉鎖されてしまった。

【写真】白岩を背景にのんびり苗木を手入れしている喜良市苗圃

◇天災は忘れた頃にやってくる。この言葉は、何回となく聞かされてきたのであるが、いったい誰のために作られた言葉だろうか？

◇天災は忘れた頃にやってくる。九月の複雑な天候をあらわした言葉であるが、その九月には二、三回ぐらいは台風が本土に上陸するということが、復旧工事中に、またまた水害だ、ということもなりました。

◇新築、残響、そして台風。これは九月の複雑な天候をあらわした言葉であるが、その九月には二、三回ぐらいは台風が本土に上陸するということが、復旧工事中に、またまた水害だ、ということもなりました。



## フォトコンテスト

## 成念結成三周年記念

喜良市カメラクラブ

私たちがカメラクラブは、喜良市地区の写真愛好家たちで結成し、ささやかながら、今年で三周年を迎えることになりました。

つきましてはこれを記念して今秋には、金木一円にわたつて写真展を開くことにしましたので、一般のアマチュア諸氏にもおもしろいことと学生諸君も喜んで参加くださることをお願い申し上げます。

規定

- ◇サイズ 一般四切
- ◇期日 受付 十月三十日まで 公開 喜良市秋まつり会期中 同会場において
- ◇賞 特選 一点 銀杯ほか三千元相当、以下十位まで
- ◇審査員 嶋海健吉、白川常守
- ◇その他 作品は未発表のものであること。審査員の助言を得たものでないこと。題名、氏名や撮影データは裏面に明記のこと

受付場所 喜良市小学校内同会事務出



# 農業経営改善計画

農林省では昭和三十六年度予算に構造政策を打ち出し、新農村建設総合対策(新しい村づくり)の代りに、農業経営改善促進地域を指定し、この地域に対して、国の指導と援助を集中し、農業経営、構造改造を推進し、できればこれを法制化し「農業経営改善促進法」(仮称)というものとする構想をたてている。

新しい村づくりは、昭和三十一年度から五年計画で、本年度がその最終年度であり、今後の農山村建設の対策は今後どうなるのか関係者一同心配していた矢先、具体化するまで、まだまだ問題はあるというが、まずひと安心といふことだ。

## 近代化と自立が目的 地域を指定し構造改造へ

この内容は農業の近代化と自立経営の育成を図るために、昭和三十六年度から十九年度を目途として、農業経営改善促進地域として市町村の区域の全部、または一部を指定する。この際の経営改善地域はできるかぎり農業条件の同じ集落を合せて地域とする。地域指定に当たっては農業近代化を示した、これまでの事情を中心として決定する。

農業経営改善計画は、経営地域を管轄する市町村が指定後一カ年以内、この内容の計画を樹立する。この計画は地域内の農業者の三分の二以上の同意を必要とし、同時にこの同意者の経営面積が地域内の三分の二以上に達していること、計画は五年以内の期間とする。計画は各年ごとの計画とする。

事業の中心は経営単位当りの土地利用の拡大または協業化による効果的運営を軸とし、機械施設の資本整備を高め、土地および労働者の当りの生産性を向上させるようにする。これらの事業の主なものは、

- 次の通り。
- (A) 農地および耕作性の移動
  - (B) 土地条件の整備
  - (C) 水利の調整
  - (D) 大型農業機械・施設の導入および管理
  - (E) 作付ならびに栽培の協定
  - (F) 道路、住宅、基地の整備および集落配置の合理化
  - (G) 土地の利用配分ないし権利の調整
  - (H) 離農対策
  - (I) その他農業経営および社会環境の改善
  - (J) 事業推進のための組織

### 大がかりな国勢調査 役場職員が各家庭を訪問

十年毎に行なわれる国勢調査は、今年十月一日現在で、当町でも実施することになった。

国勢調査は大正九年にはじめて、その後十年ごとに実施し、中間の五年目には簡単な調査だったが、今回の第九回、全国四十三万人の調査員が約二千万世帯を訪問し、九月三十日まで世帯主が記入する。

その後十年ごとに実施し、中間の五年目には簡単な調査だったが、今回の第九回、全国四十三万人の調査員が約二千万世帯を訪問し、九月三十日まで世帯主が記入する。

### 知識と技術の向上を

農利は目的としない。商工会は特定の個人または法人その他の団体の利益を目的とした事業はしない。特定の政党的目的に利用しないことにならねばならない。

地域内農業者の総合的な改善を目的とし、そのために必要な事業は次のとおりである。

- ① 会員の相談に際し指導を行なう。
- ② 商工業に関する情報および資料を集め、おおよそ提供する。
- ③ 講習および講演会を開き、知識と技術の向上をはかる。
- ④ 展示会、共進会を開く。

## 期待される新商工会 国から補助金も支給

除名についての罰則もあって、その任することになっており、その任すものは次のとおりである。期は二年である。

① 会費を六カ月以上滞りした会員  
② 役員としての義務を怠った場合  
③ 会費として義務を怠った場合  
④ 役員としての義務を怠った場合

役員は原則として無報酬であるが、役員に必要経費や出張費は実費を支給する。

### 会費は月五十円

△商工会の役員としての資格は、地区内に引き続き六カ月以上の営業所に、事務所、工場または事業場をもつ商工業者でなければならぬが、理事会の承認を得た場合は会員となることができる。

③ 一九九年以上会費を納めなかった

### 農事メモ

#### 九月

☆水稲 天候に変化が多く、とくに一年のうち最も台風の多い時期なので気象状況によく気をつけ、次の作業を行うこと。

一、急激に高温・多湿の天候に変化する中、カビの発生が予想されるので発生に注意し、防除にはBHC一%粉剤(反三三四)を散布する。

二、除草作業が早期に終るため、その他、この対策の実施について必要な農地法、土地改良法、税法等の制約の解除および特典の特例を設けるなどのため、特別的法的措置を講ずることなどである。

### ひえの撲滅と台風対策

十五日前が適期です。サトウ、秋田芋等はそれより七日十日位遅らせる。排水不良田(湿田)は、早く早めた方がよい。

四、台風対策として、雨を伴う場合は出来るだけ深くしきり雨を伴う。

### ナタネ・麦の適期播種

準備調査は九月十四日から三十日まで、調査員が各世帯を訪問して調査表をわたし、書き方について説明することになっている。

準備調査は九月十四日から三十日まで、調査員が各世帯を訪問して調査表をわたし、書き方について説明することになっている。

調査員が再訪問し、各世帯主に記入してもらった調査表を集めながら、各世帯主に質問して更に調査表に書きいれるという順序になる。

調査員は、昭和三十四年度に生れた人について調査し、各世帯の収入、職員が任命される。

### 県下一の演劇と合唱

夜間練習の金木連合青年団  
同青年団は、昨年は音楽部が去る二十日、本道中学校で行なわれた青森大会に出場して、県下九チームの最高点を優勝し、十一月東京で開催の全国大会に出場することになった。

### 私たちの自慢

出しても半農半漁の宿命的な生活を描いた「出かせぎ」が、原作は岩谷廉太郎(県教育庁募集入選作)企画阿部定一、監修秋谷清、演出黒川清、竹、出演者は白川清弘、松江優子、竹内はる、花田光則、松尾謙道、吉田進。

も土地を分けて敷ころ、大正十年に借地法が出たので、貸してあります。これは父が大正二の所有を目的とする賃貸借について、貸してあります。これは父が大正二の所有を目的とする賃貸借について、貸してあります。

### 宅地の賃貸借の期間

民法第六百四条を以て大正二年から二十年の契約になっていたと、大正十年に借地法が出たので、貸してあります。これは父が大正二の所有を目的とする賃貸借について、貸してあります。

民法第六百四条を以て大正二年から二十年の契約になっていたと、大正十年に借地法が出たので、貸してあります。これは父が大正二の所有を目的とする賃貸借について、貸してあります。

### 町内職域野球大会

第五回  
申込み 九月十八日正午、芦野球場で受け付けます。  
参加料 一チーム百円(申込み時納入のこと)  
主催 金木町体育協会